氷川町議会だより

清流ひかわ

No.51
6月定例会

全力で頑張れ！

令和6年度
八代中学校体育連盟総合体育大会

次のページは　議案の質疑

令和６年
６月議会

物価高騰対応重点支援・農業振興・道路の安全対策強化へ

令和6年度 氷川町一般会計補正予算　2億7193万円決まる

令和6年第3回氷川町議会定例会が、6月10日から12日まで。3日間の日程で開催されました。議案は承認5件（専決処分の報告及び承認）・条例の一部を改正する条例1件・令和6年度氷川町一般会計補正予算（第1号）・令和6年度氷川町下水道事業会計補正予算（第1号）を審議し、すべての案件を原案とおり承認、可決しました。
一般質問は、4名の議員が行いました。（6ページから10ページに掲載）

6月議会で、承認された専決処分、条例の一部改正、令和6年度の氷川町一般会計補正予算、令和6年度氷川町下水道事業会計補正予算の主なものを紹介します。

専決処分

○氷川町行政財産使用料条例の一部改正
氷川町の行政財産の建物・土地に係る使用料を当該土地固定資産評価額による算定方法に変更しました。

○令和5年度氷川町一般会計補正予算（第11号）
歳入歳出予算の総額に歳出予算それぞれ1000万円追加し、90億5392万円にしました。

主な歳出予算は、総務費のふるさと納税事業支援業務委託料1000万円を追加しました。

○氷川町国民健康保険条例の一部改正
国民健康保険税の賦課限度額及び国民健康保険税の軽減判定基準額が改正されました。

○氷川町税条例の一部改正
令和6年度分の個人の住民税額の控除（減額）の為改定されました。

○氷川町過疎地域の持続的発展の支援に係る固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正
免除期間を令和6年3月31日から令和9年3月31日に変更されました。

条例の一部改正

○氷川町重度心身障がい者医療費助成に関する条例の一部改正
医療費の自己負担額が入院の場合2040円を2000円に、入院以外の場合1020円を1000円に引き下げました。

氷川町全景（宇城市不知火より）

補正予算

○令和6年度氷川町一般会計補正予算（第1号）
歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億7193万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ81億6847万円としました。

主な歳出予算

●総務費
台湾東部沖地震見舞金
定額減税に伴う調整給付金

●民生費
物価高騰対応重点支援給付金

●衛生費
予防接種料（B類）

●農業振興費
氷川農業振興地域整備計画策定業務委託料
スマート農業普及促進事業補助金
新規就農者総合対策事業（経営発展支援事業）補助金
攻めの園芸緊急生産対策事業補助金
施設園芸産地緊急発展事業補助金

●商工費
立神峡公園ログハウス白蟻防除業務委託料
立神峡公園一般備品（電子レンジ２台購入費）

●土木費
町道氷川中南線（有佐工区）交差点改良測量設計業務委託料
旧氷川警察署建物等解体工事

●教育費
教材作成委託料
（平岡カルロス千代照氏の教本作成に伴う翻訳料）

○令和6年度氷川町下水道事業会計補正予算（第1号）
下水道事業費用で旅費21万円を追加。支出総額を5億9297万円としました。

請　願

◎日本政府に核兵器禁止条約への参加・調印・批准を求める請願
本会議で審議、賛成少数で否決しました。

議会全員協議会
県道 14 号八代鏡宇土線鹿島交差点改良工事計画説明

議会だより51号

P2　物価高騰対応重点支援・農業振興・道路の安全対策強化へ
P4　議案の質疑
P6　一般質問
P11　委員会活動
P12　ひと…朝のあいさつ　子どもたちに笑顔を

チェックします 議案の質疑

令和6年度の一般会計補正予算他、承認5件、議案2件、請願1件について審査いたしました。出された主な質疑を紹介します。

○行政財産使用料条例の一部を改正する条例

料金徴収方法を統一するのか

吉川議員　基本的には料金徴収の方法が統一されるのか。自動販売機は売り上げの20パーセントとかで決まっていたが今後はどうなるのか。

全ての行政財産の使用料計算方法を決める

企画財政課長　今回の改正で行政財産全てについて使用料を計算するという形になります。自動販売機につきましては、例えば指定管理者の運用で、率などを決める形になります。

○令和6年度一般会計補正予算（第1号）

吉川議員　商工費の修繕料10万円は何なのか。

地域振興課長　伝承館の屋根瓦に破損がみられましたので、雨漏り予防のため修繕料として計上しています。

○備品購入は委託料内で対応出来ないのか

飯田議員　立神峡公園備品購入費のレンジ買い替えは、管理委託料の中で賄えないか。

今回の備品は町のもの

地域振興課長　町が揃えている備品と指定管理者が自分たちで準備する備品は区分けしております。今回は町の備品となりますので予算を計上しています。

○単棟ハウスの申請内容は

木下議員　攻めの園芸緊急生産対策事業補助金は単棟ハウスで何台ぐらい申し込みがあっているのか。

いちごの単棟ハウス3件

農業振興課長　取組戸数が3戸で、いちごの単棟ハウスです。事業主体が農協の園芸部会で16棟、側部自動換気装置32台で、その制御盤が4基です。

○農振の見直し計画

関係者への説明はどうするか

清田議員　氷川農業振興地域整備計画の策定が進行中ですが現在、地権者や周辺の耕作者に対する説明はされているのか。

説明会は予定していないが広報紙で知らせる

農業振興課長　説明会は現在予定していません。広報紙等でお知らせします。また、個別の相談等につきましてはその都度受け付け予定です。

清田議員　これは町の政策として、この計画がなされますが、周辺の農業者にとっては農作業を行う上でいろいろな支障となるものも想定されます。地権者や周囲の耕作者の方々には充分な説明をお願いしたい。

地権者など関係者へは出向いて理解を得ながら進める

町長　町の政策として行います住宅政策、あるいは企業誘致政策には相当の面積が必要になります。そこは出向いて行きまして地権者、あるいは周辺の皆さん方のご理解を得ていきませんと町が勝手に農振除外を行うわけには参りませんので、その部分は別の対応で行っていきたいと思っています。

○氷川中南線道路改良工事

「記念碑」はどうするのか

吉川議員　道路新設改良予定の現場は大変見通しが悪い。また、記念碑があって大変危険と言われているが、どうされるのか。

建設下水道課長　有佐地区の信号のところになりますが、できるだけ記念碑にかからないような設計でできないか考えております。

なるべく直線的なコース取りを

西尾議員　記念碑を壊さずにコース取りをするということであるならば、なるべく直線になるような形で提案をされるのか。

安心して通行できる形にしたい

建設下水道課長　当交差点は変則に曲がっており、見通しが良い状態にしたい。また、有佐下通線から車が出にくいという話がありますので、車線を増やして安全に通行できるような形にしたいと思います。

工事の費用負担はどうなるか

長尾議員　交差点改良予定地は、記念碑や民家、ハウス等の他にも用水路などがあって多額の費用が予想されます。八代市の小学校の通学路でもありますので、費用負担は八代市にもお願いできないものか。また、通学路という関係の緊急危険性の高い交差点ということでの補助を申請できないか。

八代市の負担は厳しいと回答を頂いています

建設下水道課長　そういった話もありましたので八代市と相談を致しましたが、事業主体が氷川町になりますので補助金、起債等も氷川町に交付される関係で八代市が負担するのは厳しいとの回答を頂いております。

使える交付金を活用し環境整備を進める

町長　八代市にも相談を致しましたが、これはその箇所にあります町が当然整備していくものということで、私達も当然他の自治体の道路を使わせて頂いています。その上で氷川中南線は、以前から町が改良を計画しておりました。近くには氷川中学校もありますので周辺の環境整備は使える交付金等を使いながら、最小の負担で最大の効果を得られるように頑張って参ります。

○旧氷川警察署跡地の入札方法は

飯田議員　警察署跡地の解体工事、6172万6000円の面積はどれ位か。プロポーザルでやるのか一般競争入札でやるのか。

入札方式は公告前なので控える

建設下水道課長　入札方式につきましては公告前ですので、控えさせていただきます。建物は警察署の本体と車庫、武道場、それと倉庫が一部ありますのでそれの解体ということです。

○平岡カルロス千代照氏教材

教材の製作費は何処から

飯田議員　教育費の教材作成委託料議120万円の教育費補助金の中で地域づくり夢チャレンジ推進補助金という枠がありますが、作成費の説明を。

学校教育課長　今回翻訳に係る経費ということで120万円追加補正しており、総事業費が420万円。4分の3が県補助金315万円です。

飯田議員　平岡さんの事業に関して補助金を使わなければいけなかったのか。平岡さんの寄附金もあったわけですから、その中で作っていくことはできなかったのか。

寄附金は学童保育所に対するもの。夢チャレンジ推進事業を活用

町長　寄附金の話がでましたけども寄附金は竜北西部学童保育所の建設に対する寄附金です。それ以外に使うことは出来ませんので精算をして残った分はお返しをしております。

昨年ペルーを訪問しました。交流の中で絵本を作って功績を氷川の子どもたちだけでなく県下全域の子どもたちに教材として作ったらどうかということで新年度予算に計上しました。一般財源を少しでも使わずに事業を進めるために県の夢チャレンジ推進事業を活用させて頂いたところです。

町内での活用方法は

吉川議員　平岡カルロス千代照氏の教本は県下の子どもを対象にするという説明がありましたが、町内ではどうされるのか。

学校教育課長　各学校で読み聞かせなどに活用できたらと思っています。あと多言語に触れ合ってもらう機会を作っていきたいと考え、英語など多言語表記することで英語の教材としても使っていければとも考えています。

一般質問とは…

各議員が住民の代表として、町の行財政や事務の執行状況など将来に対する方針を聞き、町当局の考え方や疑問をただすことです。

単に疑問をはらすだけでなく、事実関係を明らかし、現行政策の見直しや新規政策を提言することです。一般質問は議員の重要な活動のひとつです。

本会議での質問時間は、質問と答弁合わせて1人60分以内となっています。

掲載している記事は、質問議員が自ら要約した原稿をもとに広報委員会が編集したものです。
一般質問などの議事録は、議会ホームページでご覧いただけます。左のQRコードで会議録が確認できます。

質問議員の質問項目

西尾正剛 議員
① 企業誘致について

飯田健二 議員
① 企業誘致について
② エコエイトやつしろのゴミ搬入手数料について
③ 消滅可能性自治体を受けた事について

片山裕治 議員
① 介護保険について
② 国道3号と県道156号鏡宮原線の道路整備計画について

吉川義雄 議員
① 町長の政治姿勢について
② 漬物加工販売農家への支援策について
③ 立神峡公園の「不適切徴収料金」の返金状況と公園管理運営について

次のページは　一般質問

一般質問

西尾 正剛 議員

Q：TSMCの進出に伴い関連企業の誘致はできないか

A：用地の確保が困難である

議員 氷川町企業立地促進条例が平成30年4月に施行され6年が経過した。指定条件をクリアすると用地取得に最大5000万円、工場建設費に最大5000万円町からの補助がある。現在一社のみが活用して補助金の交付を受けているが、それ以降の企業進出がない。その原因は何か。これまで企業へは誘致活動を行ってきたのか。今後企業誘致をどのように展開していくのか。

地域振興課長 県庁の企業立地課を訪問し、情報提供を行うと同時に情報収集を行っています。また県企業立地課のHP並びに町HPでも周知しています。制度の活用が進んでいない一番の原因は、用地の確保ができていない点だと考えます。

議員 本町にあるスマートインターを利用すると、TSMC工場まで約1時間の距離である。インター付近は農振地区だと思うが、その中で遊休農地はどのくらいあるのか。

農地課長 令和5年度の調査では、農地台帳面積に係る町内の遊休農地面積は約113ヘクタールで、インター近くの遊休農地面積は約10ヘクタールです。

議員 点在している農地をまとめて企業誘致の用地として確保することはできないか。

農地課長 企業誘致など転用を目的とした所有権移転などについては、農地法第5条の申請が必要です。また農用地区域内の農地については農地法に基づく除外申請も併せて必要になります。農地の代替地を希望される場合も同様に法に基づく手続きが必要となります。

農村産業法第5条に規定する町の実施計画の中で、企業誘致の位置づけは

議員 農村産業法に基づき、農村地域に企業誘致が実現する場合、その企業には低利子融資等の支援措置があり、売却した農地は租税特別措置法の適用が受けられる。更に地域住民には就業の機会が出てくる。農産法に規定する実施計画での企業誘致の位置付けは。また、農業振興地域整備計画との関連は。

地域振興課長 この法律は、農村地域への産業の導入を促進し、農業従事者が導入される産業に就業するための措置や、農業構造の改善を促進するための措置を講じる事により、農業と産業の均衡ある発展を目的としています。農業振興計画の見直しにあたり、農村地域への産業の導入促進等に関する法律に基づく、町導入実施計画の策定を予定しており、区域や業種等の検討を行っていきます。宇城氷川スマートインターを活かした区域の選定や氷川町にあった業種、希望の企業誘致を進めていきます。

TSMC関連の台湾及び国内の進出企業へ誘致活動は

議員 八代市は、今年1月に企業誘致の用地整備推進本部を設置して、商工政策課内に企業立地推進係を3名配置している。本町も各課をまたぐ本部を設置し専門の係を配置して、積極的に企業誘致と用地確保の業務をしたらどうか。

また希望する企業を待つのではなく、企業に直接出向き要望を聞取りする等のオーダーメード型企業誘致を行ったらどうか。

町長 企業誘致は、私の今年度の施政方針の中にも明確に打ち出しています。住宅政策と新しい企業を誘致することが今年度の大きな目標であり、今その準備をしています。

企業誘致するためには場所を確保することが第一です。本町は農業振興地域の指定を受けている農地がほとんどであり、勝手に農地以外に活用することができません。

今回農振の全体見直しを行う目的で予算を計上し、町の計画作りを指示しています。上下水道、電気等の条件をクリアする場所をしっかり選定したうえで、農振から除外し企業誘致に積極的に取り組んでいきたいと思います。

住宅政策プラス新しい企業、新しい産業を創出することがこの町の発展に繋がると思います。精一杯頑張って行きます。

一般質問

飯田 健二 議員

Q：消滅可能性自治体に指定されたが、脱却に向けた今後の対策は

A：行政が主体となり、博報堂プロダクツの活用そして議会で議論を重ね町の進む未来を模索します

消滅可能性自治体とは具体的に何に取り組むのか

議員 2020年から2050年にかけて20歳から39歳までの若年女性人口が50％以上減少する自治体を消滅可能性自治体と定義されています。氷川町では2020年時点での若年女性人口が809人で2050年で387人と試算された事で認定された様ですが、消滅という言葉のイメージが先行する事で若年層の女性のみならず、若者そのものの人口流出を引き起こし、将来的な土地の資産価値の減少を考慮し移住先候補として選択されなくなる可能性も否定できない。この様な状況の中どの様にして脱却を図るのかお聞きしたい。

企画財政課長 今年度から、職員が主体となり農業や商工業の振興、空き家対策や子育て支援などに特化したプロジェクトチームを立ち上げ、多くの企業とネットワークを持ち、大きな情報発信力を持つ博報堂プロダクツの支援を頂きながら協力して、人口減少を抑え、消滅可能性自治体から脱却する為の施策に繋げていきます。

若年層や子育て世代の支援の拡充が必要ではないか。

議員 若年層の人口減少、出生率の低さは全国的にも国による度重なる増税、物価高、賃金が上らない、子育て支援の拡充など様々な面で若者の支援が少なすぎる事にも、問題があると見ています。そういった支援の拡充は出来ないものか。

町長 飯田議員の発言を国会議員の皆さんが国会議事堂で大いに語って頂ければいいのかなと思っています。国がやるべき事、県がやるべき事、同じ行市町村がやるべき事、同じ行政であってもやるべきことはそれぞれ違うと思います。

私たちは国の制度に則ってやっております。それでも足らざる所を、できる範囲で医療費の補助や保育料の無償化など取り組んでいます。

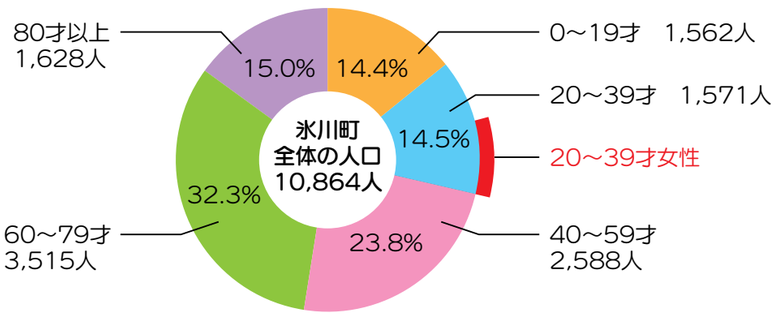
町で出来ない事であれば強く政府に訴えて欲しい

議員 国がやるべき事と考える事業については、私達氷川町民も国民であり増税されている身です。是非7月に行きます政府要望の際に若年層や子育て世代の支援の拡充を、町長には国会議員や官僚の皆様に強く要望する必要があるのではないか。

町長が出ていかれる様々な町の団体との協議の際にも消滅可能性自治体から脱却することを強く訴えて、これまで以上に氷川町の発展と振興につながる様に推進するべきではないか。

町長 これまでも県内の町村長会を通じて子育て世代への支援の要望をしてまいりました。そして人口減少対策や子育て支援政策など他所の自治体に負けないぐらいにやってきましたが現実が今です。しかしこれから住環境の整備や企業誘致など時代のニーズに合った対応も必要だと思います。こういった議論を大いに重ねて氷川町の進むべき道を見定めていきます。

氷川町全体の人口（2024年現在）



次のページは 一般質問

一般質問

片山 裕治 議員

Q：国道3号の道路整備計画はどうなっているか

A：国道3号の4車線化、国にしっかり要望していく

国道3号と県道鏡・宮原線の道路整備計画について

議員 国道3号の整備計画はどうなっているのか。

建設下水道課長 国道3号の道路の確保・拡幅などの整備につきましては、関係市町でつくる国道3号整備促進期成会において、4車線化等の整備に向けた要望を毎年行っておりますがいまだ実現には至っておりません。

県道鏡宮原線につきましても、拡幅や歩道整備といった整備計画はありませんが、道路側溝が傷んで歩行者や自転車などの通行に支障がある区間や舗装が傷んだ区間などは県に要望を行い、安全に通行できるように側溝整備や舗装整備を行って頂いております。

議員 町内での朝夕の交通渋滞は何が原因か。

建設下水道課長 特に氷川橋付近から栫地区までの区間は、信号機の設置数が多いことに起因する信号待ちの渋滞。そのほか右折レーンがない。道路や交差点での停車待ちによる渋滞。また交通事故発生時などが主な原因と考えます。

宮原交差点

国道の4車線化しっかり国に要望する。県道の再整備を提案していく

町長 国道3号の4車線化につきましては、国道3号整備促進期成会で緑川橋から八代市赤松区間まで毎年要望を行っております。期成会ができまして約50年現在約3割程度しか4車線化が進んでおりません。全部できるまであと100年かかるのかと期成会でも話をしたところです。私も副会長という立場にありますので、しっかり国に要望していきます。

県道156号につきましては、有佐駅周辺一帯の再整備という形での取り組みを提案していきます。

認知症高齢者身元確認のためQRコード活用事業導入を

議員 2024年（令和6年）の介護保険料はどうなるか。

福祉課長 令和6年度から所得再分配機能を標準9段階から標準13段階へ見直し、低所得者の保険料上昇の抑制を図っております。なお、氷川町の保険料の基準額7000円に変更はありません。

議員 介護を受ける主な原因となった理由は。

福祉課長 第1位がアルツハイマー・認知症、第2位が整形疾患・骨折、第3位が脳卒中（脳梗塞・脳出血等）となっています。

議員 認知症の方が家族または、ご近所の方などに迷惑をかけて困った時に相談する場所はあるのか。

福祉課長 認知症を初めとする高齢者の生活のサポートをされる地域包括支援センターや地域の民生委員さんに相談されるか、役場福祉課にご相談下さい。必要に応じて関係機関と協議し対応を行いたいと思います。

議員 認知症高齢者等身元確認、QRコード活用事業とは何か。

福祉課長 QRコードを利用した事業は自治体、地域住民、警察消防、医療・介護・福祉等が担う地域の見守り活動を支援するシステムです。事前に対象者の個人情報を含まない情報を登録しておいたQRコードを身に着ける物に張り付けるクラウド型インターネットサービスシステムです。

議員 認知症高齢者及び若年性認知症の方が外出し発見・保護された時に早期に身元が判明できるように認知症高齢者等身元確認QRコード活用事業の導入は考えられないか。

福祉課長 昨年、検討を致しましたが導入には至っておりません。再度利用についてのアンケートや導入運営経費も含め検討致します。

一般質問

吉川 義雄 議員

Q：問題となっている「不適切徴収料金」の返済は進んでいるのか

A：1700件余りが返金できていない 返金できるまで指導する

不適切徴収した料金は何時までに返済させるのか

議員 議会で問題となった立神峡公園で不適切に徴収された料金は、現在町の指導で返金作業が行われているが、返金はどこまで済んでいるのか。また、返金は何時までに完了させる予定ですか。

返金できない分や返金を辞退された料金はどのように処理することになったのか。

返済完了まで指導していく

地域振興課長 返金状況ですが、5月末までに1798件の回答があり、822件の60万1900円が返金済みです。また、976件の方々からは返金不要と回答を頂いています。しかし、まだ1700件余りの方々から回答が得られていません。指定管理者に返金する義務がありますので指導をしていきます。

返金を辞退された分は、公園管理に充ててほしいとの意見も頂いていますので、その意見を尊重したいと考えています。

議員 返金が遅れている一番の原因は何か。

地域振興課長 メールや郵便でお知らせをしていますが、1700件余りの方からは返信がありません。

利用記録に沿った返金を

議員 利用者と管理者とのメールがあります。その中に「返金するので当該領収書を持って立神峡公園事務所に来て下さい」とある。メールを受け取った利用者は「記録が残っていると思いますので記録にそって返金を」と言っています。

誠意をもって返金するように指導をすべきです。

地域振興課長 1700名の方々がおられます。指定管理者に月に数回連絡を取るようにと指示しています。

町長 不適切な徴収については返還作業が行われています。いち早く返還ができるようにしっかりと指導していきます。

宿泊通学体験事業時の緊急時対策はどうなっているか

議員 昨年町内小学校児童を対象にした宿泊通学体験事業が立神峡公園で行われましたが、参加した児童が夜中に発熱したことで午前0時半に家族が呼び出されるという事態が起きました。町はこの事を把握していましたか。また、どう対処しましたか。

今年もこの事業がある。保護者の中には緊急時の連絡体制を心配する方もいる。

生涯学習課長 この事業は立神峡里地公園管理運営協議会に委託して行っています。

夜中に児童が発熱し、ご家族に迎えを頂いた件は把握しています。翌日の朝5時位に現場に行った役場職員が把握しています。また、本事業実施前に保護者説明会を実施し、体調不良があった場合には保護者に迎えに来て頂くように説明をしています。

緊急時万全の体制を

議員 家族が迎えに行って、子どもたちが帰ったのは夜中の0時半です。立神峡里地公園管理運営協議会からはその時連絡はなかったのですか。担当課の職員が行って報告を受け、課長・教育長が知ったということです。保護者は、立神峡公園でやる以上は万全を期して欲しいと話をされています。

委託業者を指導しています

教育長 昨年度報告を受け、適切な対応であったかどうか、課長を通じて委託業者の方に指導しています。

今後スタッフの教育及び連絡体制についてしっかりと指導して参ります。

立神峡公園

委員会活動

氷川町議会総務文教常任委員会は、6月24・25日宮崎県五ヶ瀬町議会、都農町議会でタブレットを活用した議会活動の視察研修を行いました。

議会活動の質の向上と運営の効率化

タブレット情報共有　五ヶ瀬町議会

五ヶ瀬町議会（議員定数9名）では、平成30年11月からタブレット端末を導入。クラウド本棚「Side Books（サイドブックス）」で、インターネットを介し文書や資料をタブレット端末で閲覧、管理することができる。タブレット端末を見ながらの会議が始まりました。

タブレット導入の効果等の説明後、氷川町の委員に個人指導でタブレット利用とさまざまな機能についての具体的な活用について説明を受けました。五ヶ瀬町議会での会議においての利用の仕方・事務連絡などの方法についても詳しく尋ねることもでき大変参考になりました。

五ヶ瀬町の紹介
小迫幸弘五ヶ瀬町長

長尾委員長

氷川町議会でもタブレットを導入していますが十分な活用に至ってないことを認識しました。氷川町議会でも活用についてもっと勉強することが必要と感じました。

今回の研修では、五ヶ瀬町議会議員全員出席されての開催になりました。また、小迫町長は忙しいなかに歓迎の挨拶並びに五ヶ瀬町の歴史・沿革・人口減少対策についての貴重な話も聞くことができました。

町あげて、デジタル・フレンドリー推進

全世帯にタブレット貸与　都農町

都農町では、坂田町長の歓迎挨拶及び都農町の沿革について紹介がありました。次に三輪議長の挨拶の後、全国から寄せられた「ふるさと納税」寄付金を原資に設立された産官学連携で、まちづくりを推進する団体、一般財団法人「つの未来まちづくり推進機構」の紹介がありました。

推進機構の山内常務執行理事より組織の説明、原島裕志さんよりデジタル・フレンドリー事業内容・デジ田交付金等の説明を受けました。

都農町は4000世帯。その半分にあたる2000世帯に無償でタブレットを配布。町の100%（10億円）出資の一般財団法人「つの未来まちづくり推進機構」は11名の職員で、町民へのタブレット利用の指導や各種サービスの導入、運用状況の把握など、さらに同じシステムを使う自治体との連携などの事業を聞きました。

都農町デジタル・フレンドリー推進事業では、町民誰でもがデジタルに慣れ親しみ、多世代多様な交流を楽しめるまちを推進されていました。

都農町のふるさと納税は有効な町民への還元の仕方であると感じました。

氷川町でも、町民の皆さんへのDXの推進普及のためにも町内全体で盛り上げていく必要を認識しました。

（レポート　片山裕治）

研修参加議員
委員長　長尾憲二郎
副委員長　木下　厚
委員　片山　裕治
清田　一敏
三浦　賢治
吉川　義雄

ひと

朝のあいさつ 子どもたちに笑顔を

リビングハウスひがし　東（ひがし）　靖（やす）　朗（ろう）さん

Q 毎朝通学道路に立ち、あいさつと見守り活動をされておられますね。

A 北鹿野地区では1日と15日を「あいさつ運動の日」としています。私は、3年前から学校近くのパチンコ店裏の交差点に立ち、安全に通学できるように見守り活動と合わせて学校へ通う子供たちに「おはよう」と声をかけると、子どもたちも大きな声であいさつをしてくれます。

西部小学校の子どものあいさつは声も大きく良く出来ているなあと思います。「勉強も大事だけどあいさつがきちんとできる大人になりなさい」と親父から言われたことが今に繋がっているのかなあと思います。これからもこの交差点に立ってあいさつを続けたいと思っています。

Q 「人権の花」を子どもさんと一緒に町内の各施設などに届けておられると聞きました。どんな理由ではじめられたのですか。

A 竜北西部小学校のPTA会長をしています。「人権の花」は、児童とCSさんや保護者の方々と一緒に行っています。子どもたちが花の種を一つ一つポットに入れ大事に育ててきました。

今年は「僕たちが咲かせた花を飾って下さい」と子どもたちが書いた「手紙」を添えて役場や鹿島交番、竜北郵便局、高齢者施設などに届けています。私も、子どもと一緒に「人権の花」を軽トラックに積んで各施設に届けてきました。

Q 子どもたちの思いが地域のみなさんに伝わって「人権の花が」咲き誇るといいですね。東さんは、何時も「ハチマキ」をされていますが。

A 子ども達からも「ハチマキおじさん」と呼ばれています。私のトレードマークです。

聞き手　吉川義雄

プロフィール　東　靖朗　47歳　熊本県八代郡氷川町鹿野204-1　TEL: 0965-52-7573

●表紙のひとこと

令和6年度八代中学校体育連盟総合体育大会が八代市郡で開催され、竜北中学校、氷川中学校の選手が大奮闘。竜北中学校女子バレーボール、竜北中学校男子サッカーは優勝しました。

県大会には、バレーボール、サッカー、剣道、柔道が出場します。

●編集後記

6月15日～29日八代中学校体育連盟総合体育大会が開催されました。町内竜北中、氷川中学校の生徒たちが、各競技で日頃培ってきた技を最高の舞台で表現。強い炎天下の中、屋内外の競技で汗が飛びちるプレーをしているのを見て感動しました。7月に入り高校野球では球児が毎日のように新聞に搭載され、炎天下の中これぞ若人と言わんばかりの躍動を感じる写真を見て感動しきり、自分の運動不足を実感します。さて、異常気象でしょうか、連日35度近い気温で危険な熱中症の記事が毎日のように報道されています。今後も益々日差しは強くなります。炎天下での作業や運動には十分にお気を付けて下さい。

（長尾憲二郎）

発行責任者　米村　洋
委　員　長　吉川　義雄
副委員長　長尾憲二郎
委　員　清田　一敏
委　員　飯田　健二